

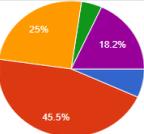
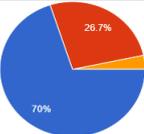
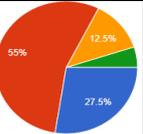
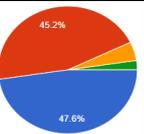
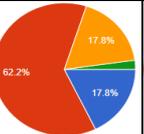
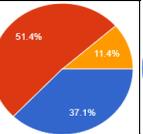
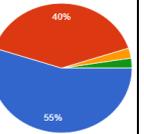
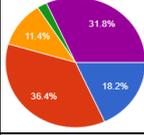
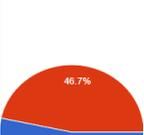
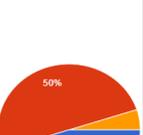
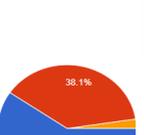
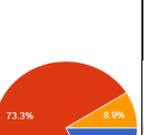
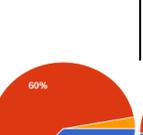
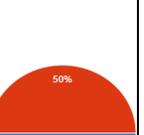
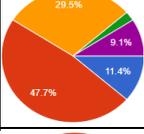
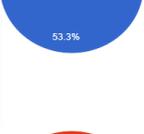
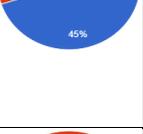
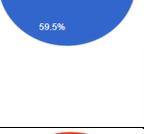
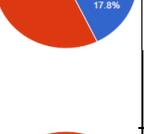
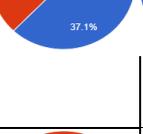
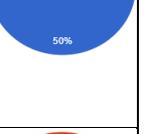
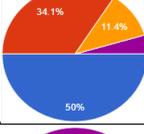
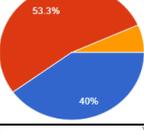
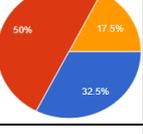
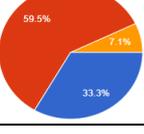
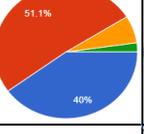
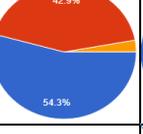
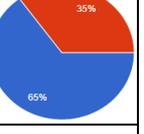
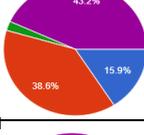
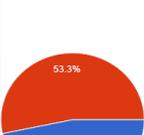
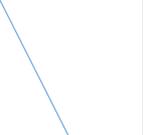
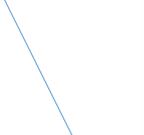
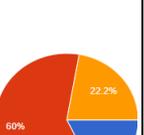
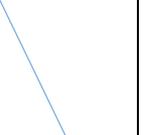
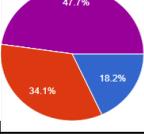
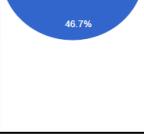
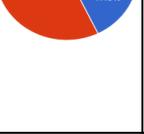
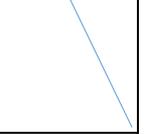
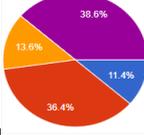
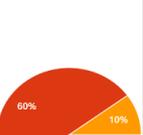
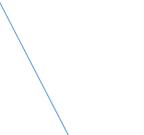
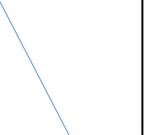
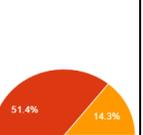
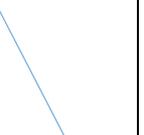
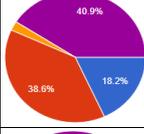
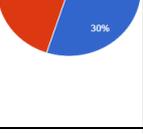
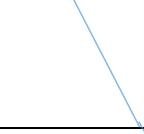
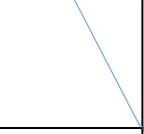
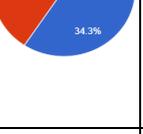
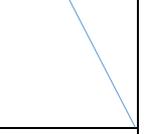
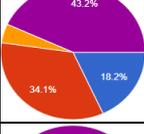
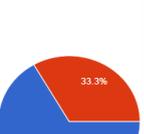
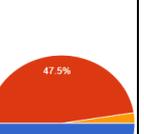
令和7年度 学校評価

- 4 十分できている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 できていない。改善を要する
- 直接担当していないので判断が困難

実践目標	教師	保護者			生徒		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
1.学校の取組を保護者、入学希望者・その保護者等に紹介する。							
2.家庭や地域への情報発信							
3.卒業生の定着支援を行う。定着支援の気づきを在校生に生かす。							
4.生徒一人一人に応じた進路実現のための取り組みを行う。							
5.アグリパークと一体となって危機管理体制を整備する。							
6.環境衛生に取り組み、安心安全な教育環境を整える							
7.地域と連携を図り、本校のセンター的機能の役割を果たす。							
8.生徒の実態に即した教育課程を編成し、実践する。							
9.適切な実態把握に基づく、適切な指導を行う。							
10.いじめのない集団への取り組み							
11.行事、生徒会活動の主体的な取り組み							
12.保健教育を通して生徒の健康管理能力を高める							

令和7年度 学校評価

- 4 十分できている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 できていない。改善を要する
- 直接担当していないので判断が困難

実践目標	教師	保護者			生徒		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
13.人権意識アンケート結果で確認できた課題（「HIV感染者・ハンセン病患者等」「高齢者」「女性」）に関する知的理解を高める。							
14.サテライトDAY、サテライト授業を再考する。							
15.新西神戸版キャリア発達段階表を活用する。							
16.情報活用環境の整備と1人1台端末活用の「日常化」							
17. 集団や社会の形成者としての見方考え方を働かせ、自らの課題を明確にし、自ら考え主体的に行動することができる。							
18.実践的体験的な学習活動を通して働くことの意義を理解し、職業への興味関心を深め意欲を育てる。また、取り組みや評価を通して自分の能力や適性を知る。							
19.集団や社会の形成者として見方・考え方を働かせ合意形成を進め、仲間とともに協力して実践する。多様な人々と共生する態度を身につける。							
20.職業体験実習及び授業の中で自らの課題や目標を明確にし、「自分らしく」働くことを意識して、専門的な職業能力を高める。							
21.生活経験の幅を広げ、卒業後の社会生活へスムーズに移行ができることを目指す。							
22.職業・社会生活を意識した自己決定力の育成と、主体的に自立した生活を営むことができる力を身に付ける。	